

2015 新成人 わたしの夢

私が最近、強く感じることは、「出会いを大切にしたい」ということです。いま私は、大学生になって、講義やボランティア活動、サークルなどを通じ、さまざまな出会いを経験しています。学校の仲



小西 夏子
両島町会

間はもちろん、社会人の方々とも関わる機会が増え、私の世界はとて大きくまりました。そして、それを通じ、少しずつではありますが、私自身の成長も感じています。それが楽しくて、ますますいろいろな出会いをしたいと感じることができます。出会うために必要なことは「やってみよう」というチャレンジ精神

私は今、理学療法士の専門学校に通っています。私が理学療法士の道を目指すきっかけとなったのは、高校の時に怪我をして入院し、理学療法を受けたことからでした。そこで理



市川 真由
石芝町会

学療法士という職業があることを初めて知りました。サッカー部に所属していましたが高校最後の大会に出場出来ず、精神的にも身体的にも落ち込んでいた私を支えてくださったのが理学療法士の先生でした。その先生のように私も病気や怪我をした人達を支えたいと思い、現在勉強しています。医



揮毫 伊藤茂男氏

鎌田地区	平成27年1月1日現在
世帯数	8,479 戸
男	9,693 人
女	9,378 人
発行者	西部公民館 公民館編集委員会

療系の分野ということもあり専門的な勉強に苦戦することも多々ありますが、夢に向かって一歩一歩確実に前進していきたいです。

本年は試験、実習、就職活動と忙しく大変な1年になりますが、壁を乗り越え成長できる1年にしたいと思います。20歳となった今、これまで支えてくれた家族、友人、多くの人に感謝し、これからも目標に向かって日々努力していきたいです



だと信じています。せっかく親が与えてくれた大学生という時間を無駄にすることはできません。これからも、さまざまな出会いを求め、チャレンジし、経験を積み、成長していきたいと思っています。「多くの出会い、チャレンジ、経験、そして成長」これが私の大事にしていきたいテーマです。



新公民館の南西からの外観
総面積57.8㎡ 総工費3,800万

月見町の新公民館が完成し、昨年11月1日、業者と近隣町会を招いて竣工式と祝賀会を開催した。町会の祝賀会は11月16日(日)75人ずつ2部制で「マグロの解体ショー」で盛り上がった。新公民館は全ての備品が新しくなり、玄関には創立50周年を記念して募集したシンボルマークが「和と絆の街」を表現して輝いている。大議会室は以前の公民館と同面積だが、ステージを6分割して収納可能にしたので、総会時等100名以上の収容が容易で、小会議室は7~8名の会議用で和室調。

街かどの話題 133

和と絆の街に 新公民館が完成



月見町町会
町会長 仁科 尚偉



マグロの解体ショー

全ての会議室は天板折りたたみ式の最新型テーブルと肘付軽量積み重ね式の椅子とした。また、西のバス停、東のゴミ回収、ふれあい市場用に配慮した奥行一間の庇が利便性を考えた設計だと、皆さんから高い評価を得ている。

最初の来客は11月25日茅野市玉川地区ボランティアの会の皆さんで、『サロン月見草』の視察だったので、コーヒESHOPPで歓迎した。ふれあい市場のDVD上映に、新しい上映設備と音響機器が大いに役立った。

茅野の皆さんとの交流の中で、町会の次代を担う若い人たちの関心の薄さが共通の悩みと報告されましたが、新しい公民館を利用して映画鑑賞会や料理講習会等、若い人たちに期待しながら、高齢化率44%の月見町ですが、頑張っていきたいと思っています。

特別寄稿



松本市文書館
特別専門員
小松 芳郎

鎌田村は、江戸時代から明治8年まであった村で、松本藩の筑摩郡庄内組15か村の一村でした。安政2年(1855)の「安曇・筑摩両郡村々明細書上帳」という文書によれば、鎌田村は、家数15軒・人数75人(男37・女38)でした(庄内組合計では706軒4410人)。

明治4年の廃藩置県後に、松本県を経て筑摩県に所属します。この筑摩県のすめた大合併により、明治8年に、鎌田・庄内・埋橋・三才・中林・小島・征矢野の7か村が合併して筑摩村になりました。

明治22年4月には、国のすめた大合併によって、鎌田・征矢野と小島村のうち田川西の地域、出川町・並柳・笹部・高宮・両島が合併して松本村が成立します。そして大正14年2月に松本村は松本市に合併します。文書館は、平成元年度から開始された松本市史編さん事業が完了した後、平成10年10月1日に、和田地区に開館しました。16年を経過した、昨年9月24

日、この鎌田地区の第二学校給食センター跡地に松本市文書館が新築移転、開館しました。長野県内では、平成6年11月に開館した長野県立歴史館が文書館機能を有し、市町村では松本市文書館の開館以降、平成19年11月に長野市公文書館、25年4月に小布施町文書館がそれぞれ設立されました。全国的にみると、1718の市町村のうち、文書館は35館だけです(平成26年10月現在)。

文書館で地域の歴史を調べてみよう

歴史資料として重要な文書の収集及び保存をし、広く一般の利用に供するための文書館がおこなっている事業は、①文書の収集・整理・保存、②文書の閲覧・複写、③文書に関する調査・研究、④文書に関する専門的な知識の普及・啓発、⑤資料集等の編さん・刊行です。

所蔵している文書は、寄贈・寄託された地域文書約5万点、旧町村の行政文書約8万点、複製資料約8万点、書籍1万冊です。

文書館講座を毎月1回開催しており、また、地域の資料を検索・閲覧できます。文書館に来館いただき、鎌田の地から、地域の歴史をみていきましょう。

(中山地区在住)



閲覧室



©2011 YAMAGA

「未来への夢と感動へチャレンジ」という企業理念のもと、地域の皆様に愛して頂けるクラブを目指して活動を続けて参り、一つの節目としてJ1昇格ができたことを心より嬉しく思うと共に、より一層の責任を感じており、J1でのシーズンは非常に厳しい戦いを強いられる事が予想されますが、常に挑戦者



(株) 松本山雅
代表取締役社長
大月 弘士

未来への夢と感動へチャレンジ!

の姿勢を忘れることなく最後まで諦めない姿勢を貫きたいと存じます。我々はJ1昇格を機にクラブの成長に向けて三つの約束を致します。①地域の多くの子どもたちがトップチームで活躍できるように育成組織の確立を目指します。②より安全で快適なスタジアムを創造しシアター・オブ・ドリーム(夢の劇場)といわれるような環境整備を目指します。③健全経営に徹し地域の発展に寄与できるクラブを目指します。そういう意味ではJ1昇格がまさに山雅物語の始まりであり、大きな変化、そして進化の時を迎えたと感じています。

ドイツ研修の際、現地でサポーターに言われた言葉が今でも心に響いています。「俺たちのクラブはドイツで一番素晴らしいクラブだ」「少ない予算規模なのによくここまで成長した」「クラブの成功は我々市民の誇りだ」その時の感動を忘れることなく、我々の街でもこのような言葉が聞こえてくるように努力し続けたいと思います。



最終戦後のグリーンシャワー

(鎌田町会)